

木材の適材適所と多品種少量生産への対応を経営の両輪として、
建築用・土木用・梱包用材へと対応できる領域を広げ続ける。



どんな事業をされていますか？

効率良く板材を製造できるオペティマイザー

主業は製材業で、建築用材が売上の6割以上を占め、残りが土木用材、梱包用材となっている。建築用の製材品は工務店や大工への販売がほとんどで、在来工法の住宅用木材が主流だったが、それが減少し、オフィス、店舗、施設などの非住宅用の案件も納材するようになってきた。
また、建築用材、土木用材の製材に加えて、7年ほど前から梱包用材も手掛けるようになった。工業製品等の運送に欠かせない梱包材は月ごとの注文が入るため、需要の予測が立てやすいというメリットがある。
また、8ヘクタールほどのヒノキの山を保有しており、工務店や大工から製材品の短期での納品依頼があった場合や長尺材などの特殊材での注文に対応するため、自社伐採し、製材・乾燥を行い納品している。



シングルバンドソー



ツインバンドソー

事業の特長や強みは何ですか？

丸太の材質を見極め、用途に適した製材をする「適材適所」な木材の活用と、「多品種少量生産」への対応が強みだといえる。これは建築用材、土木用材、梱包用材のすべてに共通するテーマであり、当社の経営の両輪となっている。

また、当社は、しずおか優良木材認定工場であることも強みだと考えている。住宅、非住宅ともに、しずおか優良木材を一定以上使うことで、県の助成事業を活用することができる。最近是非住宅の分野での申請が増えており、品質の確かな県産材活用の一助となっていると思う。

代表的な製品、サービス、設備などは？

代表的な一つの製品があるのではなく、多品種少量というそれとは逆のニーズに対応しているのが特長であり、それを可能にする機械や設備を保有している。シングルバンドソー、ツインバンドソー、ツイン丸鋸、リングバーカー、オペティマイザー、人工乾燥機、モルダー加工機などがあり、長物の構造材を含めて多様な材の生産に対応している。複数の機械を適宜使い分けながら、下地材から羽目板、割角など、定型ではない仕様に対応している。最近増えているリフォームでは、個々に求められる材が変わってくるので、そのニーズにも対応できている。

今後の展望をお聞かせください。

在来工法の住まいが減少する中で、今後はオフィス、店舗、施設といった非住宅の分野での木材活用が伸びると見込んでいる。2020東京オリンピック以降、大規模建築物に木材を活用する流れが加速し、RC造の内装に木材が使われているため、板材のニーズに応えていきたい。

また、ウッドショックや円安を契機に外材から国産材へのシフトがおこり、各自治体も地域材の活用を支援するようになってきた。そのような変化に対応しつつ、当社の強みである木材の適材適所と多品種少量生産への対応に一層磨きをかけ、社会から求められる企業であり続けたい。



人工乾燥機



これまでの足跡を
振り返りつつ
今後の展望を語る
渡邊善正 取締役

取材日：令和7年2月3日

沼津木材協同組合 有限会社 渡邊木材

取締役 渡邊善正

静岡県沼津市井出1802番地の2

TEL. 055-967-2344 FAX. 055-969-0100

Mail : watamoku@titan.ocn.ne.jp

創業：1954年5月

事業内容：製材業（建築用・土木用・梱包用）、伐採事業

従業員数：4人

年間売上高：1億円（2023年度）

許認可等：しずおか優良木材認定工場、建設業許可

発行：静岡県木材協同組合連合会



多品種の造作材、下地材を製造